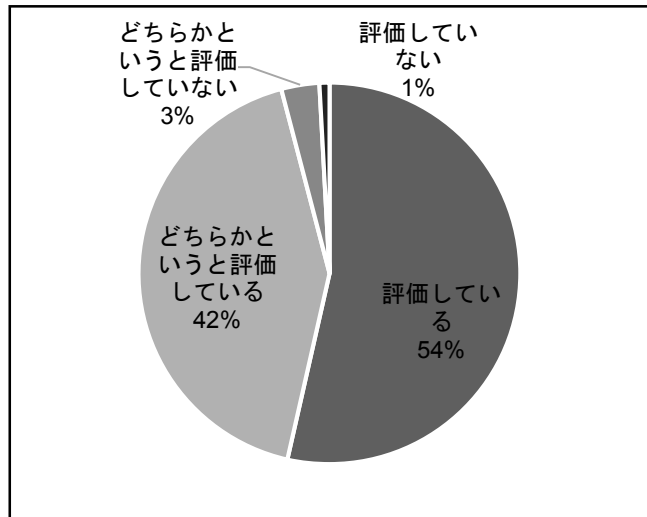


教職員用ICT活用指導力調査（7月13日回答分 1055名）

GIGAスクール構想によって学習者用コンピュータが児童生徒に1人1台配付されたことをどのように考えますか	
評価している	565
どちらかという評価している	447
どちらかという評価していない	34
評価していない	9
合計	1055



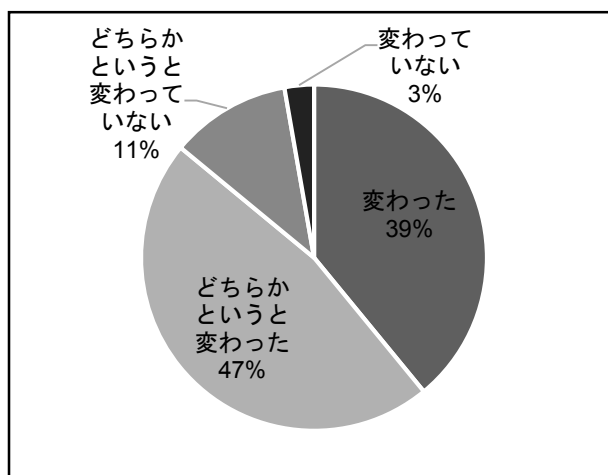
「評価している」と回答した理由より抜粋（太字は特に同様の回答が多かったものです）

- ・ **授業の幅が広がった。**
- ・ **調べ学習がしやすくなった。**
- ・ **子どもたち一人ひとりに合った学習ができる。**
- ・ **時代に合っている。**
- ・ **使いたいときにコンピュータが使える。**
- ・ 評価がしやすくなった。
- ・ 意見を出しやすくなった。
- ・ 一人一台あると学校に来れなくなったときや、活動中に便利だから。
- ・ 公平でよい
- ・ 一人一人が真剣に学習したいとと組んでいる。また、個々の進捗がわかりやすい。
- ・ 児童の思考がより深まる。授業効率の向上。
- ・ 一人ひとりが意欲的に学習課題に取り組んでいると感じるから。また、学級閉鎖中に、同じ教室にいらなくても、顔を見たり共有の課題を操作したりして友達と一緒に学べたことで子供たちの不安が軽減され、積極的に学習に取り組めたことを実感したから。

「評価していない」と回答した理由より抜粋

- ・ 使用目的が明確でないまま取り組みだけが先行しているように感じる。研修や児童の実態などが把握できていないまま進んでいる。とりあえず使ってみて、活動例などを収集することが目的なら良いと感じる。他にももっとお金をかけなければいけないところもあるのに。。。と下っ端ながら感じてしまうこともあるが立派な方々が、考えたことなどで授業に積極的に使っていきたい。
- ・ 配付自体は評価するが、教員用の公務用パソコン、一人一台配付の方が先決だと考える。
- ・ まず第一に時期尚早の中で学習者用コンピュータを配付したことが理由です。多くの教職員が使いこなせていない状況であることの認識が無さすぎるし、何より学校の設備面にも問題は多々あると感じる。少なくともモニターとChromebookをワイヤレスで画面にキャストできるようにする等、ちゃんと基盤を作ってからGIGAスクール構想を行うべきと考えます。
- ・ 配っただけで、ほぼ現場の先生まかせであるから。中学校教育では、そもそもGoogle classroom自体が不要
- ・ 現場が望んだものではないので。
- ・ 使い方の説明もままならない状況でおこなわれているから。生徒自体が全く扱えないので余計な指導が増えた。働き方改革とリンクしておらず、余計な業務が増えている（研修、準備等）
- ・ W i F i の環境の整備が甘く校舎内で使用できない場所がある。一人1台Chromebookを配るのならその費用を教育現場の改善にあてるべきだ。授業の際に準備・片付けの時間を取るため進度がものすごく悪い。

GIGAスクール構想によって学習者用コンピュータが児童生徒に1人1台配布されたことで授業は変わりましたか。	
変わった	412
どちらかというが変わった	495
どちらかというが変わっていない	119
変わっていない	29
合計	1055



「変わった」と回答した理由より抜粋（太字は特に同様の回答が多かったものです）

- ・ **子どもたちが課題に対して主体的に取り組むようになった。**
- ・ **コンピュータ室に行く必要がなくなった。**
- ・ **イメージや考えなどが可視化しやすくなった。**
- ・ **情報共有がスムーズになった。**
- ・ **調べものがすぐにできるようになった。**
- ・ **紙やノートの使用が減った。**
- ・ タブレットを使っているだけで今までとは変わっている。
- ・ 苦手意識がなく、挑戦する姿が見られる。
- ・ 便利な機械で、用途が多様に対応できる。
- ・ 個々に配布されたことで、指導者や児童の能力に応じていかようにも使うことができる。
- ・ 映像資料などを児童に提示し操作させることも可能になり、視覚的、体感的な学習に取り組めるようになったと考える。
- ・ 効率の良い授業展開につながるが多くなった。

「変わっていない」と回答した理由より抜粋（太字は特に同様の回答が多かったものです）

- ・ **（小学校）1年生には、あまり使わせていないから。**
- ・ 低学年にはいかしづらい。
- ・ 電子黒板も配備され、生徒が自分のコンピュータを使用する必要性を感じないから。
- ・ タブレットを使って授業をしていません。
- ・ 普段使っていた思考ツールやホワイトボードがデジタル化しただけのため。
- ・ 一年生の発達段階においては、コンピュータの使用方法を学ぶまでに至っていない。
- ・ 自分が使えないから。と、使わない授業も必要だと考えているから。
- ・ クラスを持っていない立場です。担任の先生方の授業はとても変わったと思います。自身は書写を担当しており、机の上の道具類の多さや、墨汁をタブレットにこぼしてしまうなどのトラブルを考えると授業でのタブレットの仕様に踏み切れません。また、タブレットを利用することで書く時間が減ってしまう、どうしてもタブレットを使わなければ成り立たないような使い方が見つからない、などの要因があるからです。
- ・ 教師の研修時間が取れないため。また、自分の教科においては今の所必要性を感じないため。
- ・ 私が授業で活用できる能力がない

GIGAスクール構想による学習者用コンピュータの導入により、今後の学校教育についてどのような可能性が考えられますか。

回答抜粋（太字は特に同様の回答が多かったものです）

- ・ **子どもたちの情報活用能力が高まる。**
- ・ **一人ひとりに合った学習をすることができる。**
- ・ **いろいろな方や場所と繋がることができる。**
- ・ **オンライン授業ができるようになる。**
- ・ **紙やノートを使うことが少なくなる。**
- ・ **子どもたちのプレゼンテーション能力をあげることができる。**
- ・ **家庭学習が充実する。**
- ・ **業務の効率化によって教員の負担が減る。**
- ・ **不登校児童・生徒の学びの確保ができる。**
- ・ **子どもたちの自主性が向上する。**
- ・ よりきめ細かい指導ができ、苦手とする生徒に対しても手厚い指導ができる。また、発展して取り組むことができる生徒がより最前線で活躍することができると思う。
- ・ オンライン上での共同学習、議論などをすすめるなど
- ・ 社会に出てからいきる授業ができ、学習内容をより詳しく学習することができる。
- ・ 宿題の回収や添削のAI化。授業準備の短縮・効率化。
- ・ 特別な配慮を要する児童生徒への支援の幅が広がる。
- ・ 相手の考えが瞬時に理解できる。学習の幅が広がる。

GIGAスクール構想を進めていく上で考えられる課題はどのようなことが考えられますか

回答抜粋（太字は特に同様の回答が多かったものです）

- ・ **教員のITスキルの向上。**
- ・ **情報モラルの向上。**
- ・ **情報セキュリティの向上。**
- ・ **授業に合ったコンピュータ使用方法の研究。**
- ・ **コンピュータを使うことが目的になってしまうこと。**
- ・ **ネットワーク環境の増強。**
- ・ **家庭におけるインターネット環境の確保。**
- ・ **コンピュータ利用のルール作り。**
- ・ **デジタルと紙媒体のバランス。手で書く力の維持。**
- ・ 活用方法について、具体的な指導案や指導例を今後増やしていくことが課題となる。得意な人だけではなく、すべての教員が同じレベルで同じ内容のことを自然と使いこなしていくことが難しく、課題となると考える。
- ・ Chromeブックのフィルタリングがあまりにも堅固で、Yahoo!きっずの学習ゲームすら行うことができません。
- ・ ネットを自由に扱える現在の状況では、子どもたちがYOUTUBEなどを勝手に見てしまうことが多い。自由度が高い分こちらの制御が難しい。
- ・ 学習者用コンピュータが学校管理で繰り返し使用することになるので劣化したものをどのタイミングで更新するのかが課題であると考えられる。
- ・ すべての先生、すべての授業がこの形態になってしまったら、生徒は確実に偏った成長をすることになる。
- ・ 対コンピューターとなるので、よりひととの関係を作ることが大切であると思う。そのためには、対話的活動をおおくとり入れることがのぞましい。
- ・ 教師の重労働。教師の時間外労働が問題になる中で、GIGAスクール構想に対応するために研修を積む必要があります。負担は大きい。
- ・ もっと専門の人を現場に常駐させてほしい。ものだけでは難しい。
- ・ タブレット使用上の注意、とくにモラルの面。故障した機器の交換の保証、古くなった機器の入れ替えの保証、持ち帰り時の留意点など。